

ごあいさつ

社会構造の変化に伴って、建設業界の受注環境も大きく変化を遂げています。公共工事の総合評価入札方式が広く定着し、コスト競争だけではなく質の高い構造物への要求から、今まで以上に「技術力」に対する期待が高まっています。また、様々な分野での偽装が問題となる中、私たち建設に携わる技術者は、原点に立ち返り、信頼される技術や品質を提供する熱意や信念を持ち続けることを今一度、真摯に考え、心に誓わねばなりません。

社会資本整備や建築分野の動向をみると、新規の建設投資が減少する中、今までに建設された社会資本や構造物をいかに長く使っていくかが大きな課題となっています。持続可能な循環型社会を構築する上でも、これらに対応する技術が求められています。

広く地球環境を見ると、毎年のように発生する自然災害は、海外ではバングラデシュのサイクロン、中国四川省での巨大地震、国内でも、大規模な土砂災害を引き起こした岩手・宮城内陸地震が発生しました。また、地球温暖化の影響かと考えられる局地的な豪雨により各地で被害が相次ぐなど、自然の猛威のもと、いたましい災害が後を絶たない現状にあり、防災・減災に対する継続的な取り組みが求められています。さらに、環境サミットでも取り上げられた地球温暖化問題は、喫緊の課題です。建設業においても二酸化炭素削減など環境問題への取り組みが強く要請されています。

飛島建設は、明治16年（1883年）の飛島組創設から、創業者飛嶋文吉翁の『利他利己』というお客様第一の精神で、常に「お客様の満足」を目指しております。また、120余年で培った「技術力」と「ものづくりへの熱意」を礎として、「防災のトビシマ」、「建ててから始まる真のお付き合い」をスローガンに、社会の変化に対応しその要請に応え、よりお客様に近い新しい建設業の姿を実現すべく、努めております。新たに開発した技術と、保有している技術を組み合わせ、身近な問題から地球環境問題まで、社会の様々な期待に応え続けていく所存でございます。

「とびしま技報」は、創刊以来第57号を重ね、これまで当社による研究開発の成果公表だけでなく、土木や建築の計画・調査・設計・施工および維持管理など多岐にわたる技術の一端を紹介させて頂いております。本紙第57号では、トンネル、ダム、シールド、開削等の土木分野から、建築施工や設計計画等の建築分野ならびに環境、維持保全、現場施工管理、災害復旧・復興支援活動に及ぶ23編を掲載致しました。また、短報というジャンルを設け、現場における技術開発、技術改善活動をより広くご紹介する試みを始めました。皆様におかれましては「とびしま技報」をご高覧いただき、ご意見やご批判を賜りますようお願い申し上げます。

末尾になりますが、これまで同様に、トビシマへのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2008年9月
技術研究所長
三 輪 滋